

かめおかえきみなみしゅうへん
亀岡駅南周辺地区都市構造再編集集中支援事業(京都府亀岡市)

令和5年度ver.

◆事業概要: JR亀岡駅周辺の幹線道路を中心とした本市の顔となる拠点づくりや、古くから城下町として発展してきた歴史的環境の保全整備を一体的に実施する。

◆事業主体: 亀岡市 ◆面積: 110ha ◆交付期間: 令和元年度～令和5年度 ◆立地適正化計画公表時期: 令和元年3月

◆全体事業費: 734.2百万円 ◆交付対象事業費: 734.2百万円(国費: 361.3百万円) ◆国費率: 49.2%

周辺図



■基幹事業(高質空間形成施設)
(都) 西町亀岡停車場線修景整備

■基幹事業(高質空間形成施設)
(都) 並河亀岡停車場線修景整備

■基幹事業(高質空間形成施設)
(都) 亀岡停車場三宅線修景整備
R5年度事業内容: 工事

■基幹事業(道路)
(都) 亀岡停車場三宅線修景整備
及び(都) 西町亀岡停車場線修景整備

■基幹事業(高質空間形成施設)
南郷公園及び公園遊歩道修景整備

□提案事業(事業活用調査)
まちなみ・まちづくり計画策定

□提案事業(事業活用調査)
亀岡駅南周辺地区事業効果分析

■基幹事業(高質空間形成施設)
歴史的資源ネットワーク整備

■基幹事業(公園)
内丸町簡易児童遊園整備

■基幹事業(公園)
京町簡易児童遊園整備

— : 都市再生整備計画の区域
— : 都市機能誘導区域
— : 居住誘導区域
■ : 基幹事業
□ : 提案事業

□ : R5年度事業箇所

人口: 約87,000人(令和4年12月1日現在)



0m 100m 500m

亀岡駅南周辺地区（京都府亀岡市）

（都市構造再編集集中支援事業）

1. 地区概要

本地区は、J R 亀岡駅の南側に位置し、駅前ゾーンについては、土地の有効活用が図られていない面が見られるなどの課題がある。また、市街地ゾーンについては、旧城下町を中心に古いまちなみや、鉾に代表される地域の歴史文化などが数多く残されるゾーンであるが、全体として周遊型観光に対応する地域の形成や地域住民全体の景観形成、おもてなしの機運づくりを進めていく必要がある。

このことから、J R 亀岡駅周辺の幹線道路を中心とした本市の顔となる拠点づくりや、古くから城下町として発展してきた歴史的環境の保全整備を一体的に整備する。

2. 計画内容

所在地：京都府亀岡市

事業主体：亀岡市

面積：110ha

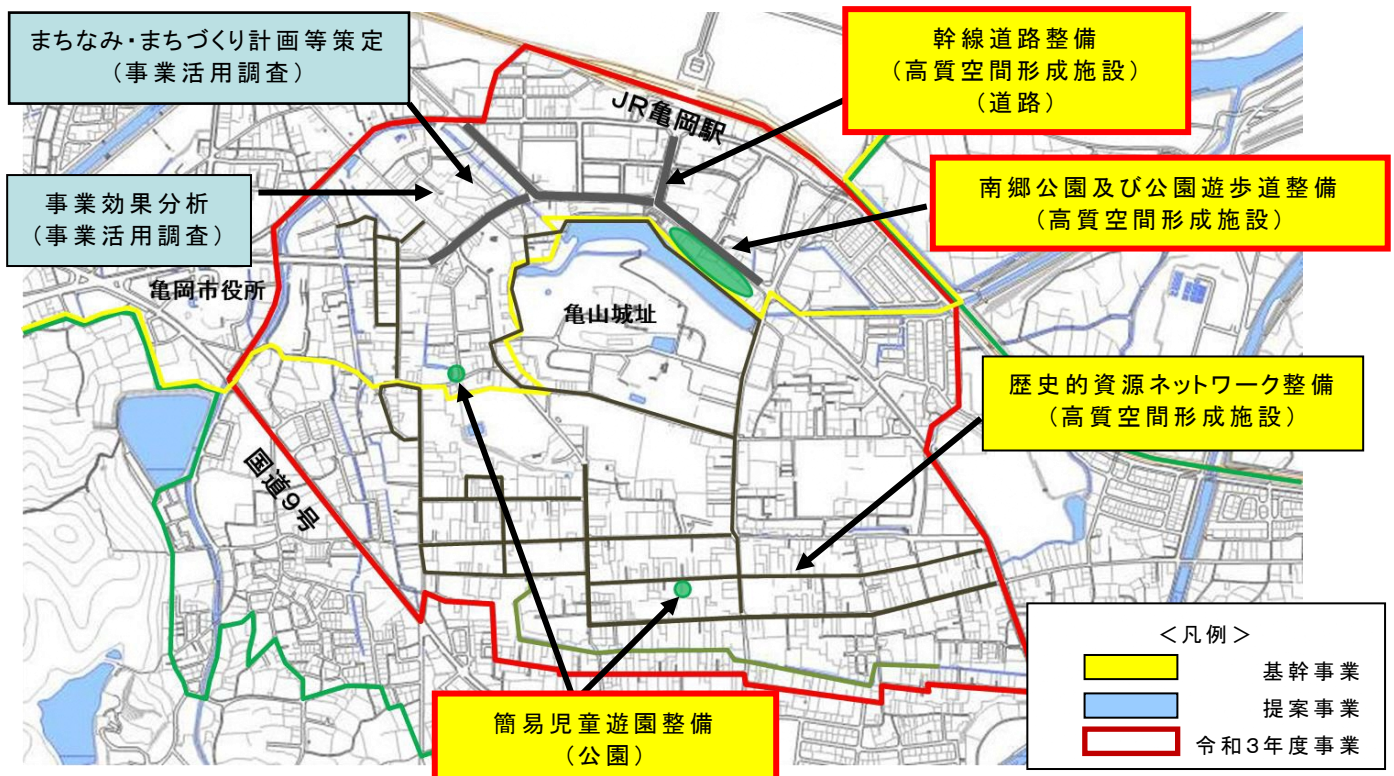
交付期間：令和元年度～令和5年度

事業費：全体734.2百万円

（国費：361.3百万円）

事業内容：高質空間形成施設整備、事業活用調査

当該地区



都市再生整備計画

かめおかえきみなみしゅうへん
亀岡駅南周辺地区

(第6回変更)

きょうとふ かめおか し
京都府 亀岡市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかワークابل推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	京都府	市町村名	かめおかし 亀岡市	地区名	かめおかほきみなみ地区うへへく 亀岡駅南周辺地区	面積	約110 ha
計画期間	令和元年度～令和5年度	交付期間	令和元年度～令和5年度				

目標
大目標『歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる新たなまちの顔づくり』 目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり 目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり 目標3 住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方えを含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は、周囲を山々に囲まれた豊かな自然と、長い歴史の中で培われた伝統文化など、豊富な地域資源を有した都市として、主にJR山陰本線と国道9号に沿って市街地を形成し、多くの都市機能が集積している。しかしながら、近年の少子高齢社会の進行や人口減少社会の進展などの急激な社会構造の変化に対して、まちづくりにおいてもその対応が求められている。 とりわけ本市の中心拠点となるJR亀岡駅周辺については、高次都市機能が集積し、公共交通の中枢となるターミナル機能を有する地区として位置付けており、商業・業務機能をはじめ、さまざまな都市機能の維持・誘導を図っていく地区としている。しかしながら、民間が保有する低未利用地も散見され、都市としての求心力も低下しつつある。一方で、中心市街地には古い町並みなどの歴史文化資源が残されていることから、観光資源として活用し、交流人口のさらなる拡大を図りながら、中心拠点における低未利用地を活用したにぎわいづくりや、既存ストックの再編による都市の魅力向上に取り組む。 また、市内のJR各駅周辺を地域拠点と位置付け、必要な都市機能の維持・誘導を図りながら、道路・公共交通ネットワークの整備・機能強化により、他の地域拠点・産業拠点等との連携を促進し、「集約拠点ネットワーク型都市」の形成を目指す。
まちづくりの経緯及び現況
当地区は、JR亀岡駅南側を中心とする本市の交通結節点となっている駅前ゾーンと、地区の南側にあり亀山城の城下町をベースに形成されている市街地ゾーンに大別されており、歴史的発展過程を見ると、高度経済成長期以前までは、旧城下町が本市の都市的サービスを提供する中心的役割を担っていたが、人口の急増に対し、駅周辺のみで都市拡大を行うことが困難であったことと、自動車社会の進展や、地区南側の郊外に大規模な住宅団地が形成されたこと等により、都市軸が国道9号を中心に形成されるとともに、都市機能が分散したため、相対的にJR亀岡駅周辺地区のポテンシャルが低下してきた。 駅前ゾーンについては、大型商業店舗が2店舗立地するなど商業地としての性格を有しているが、駅前に大型平面駐車場が広がるなど、土地の有効活用が十分に図られていないほか、本市の顔となる立地でありながら、修景面において駅周辺の住民や、本市を訪れる観光客にとっての満足度が不十分な面がある。 市街地ゾーンについては、今もなお数多く点在する社寺や伝統的な町家による町並み、城下町であったころの町割りが残されており、歴史文化景観的に価値の高い地区となっている。
課題
駅前ゾーンについては、JR山陰本線の複線化やJR亀岡駅舎の改築、主要地方道亀岡園部線の延伸整備など大規模なインフラ整備が完了し、地域の交通条件が大きく変化したほか、地区の北側では土地区画整理事業による新たなまちづくりや、府立京都スタジアムが建設されたことなどから、当地区においてもこれらを契機としたまちづくりの展開が望まれている。 市街地ゾーンについては、旧城下町を中心に古い町並みや、山鉾に代表される地域の歴史文化などが数多く残されているゾーンであり、また、2020年NHK大河ドラマが明智光秀を主人公とした「麒麟が来る」に決定したこともあり、景観的配慮を行った街路の延伸や観光対応機能の充実、地域住民主体の景観形成やもてなしの機運づくりを図り、当地区の有する歴史的資産や建造物を積極的に活用した亀岡独自の歴史的地区として個性あるまちづくりを展開し、全体として周遊型観光に対応する地域を形成していくことが必要となっている。
将来ビジョン(中長期) 【総合計画】 第4次亀岡市総合計画(平成23年1月策定)に位置付けられたまちづくりの基本方針 目指すべき都市像 … 「水・緑・文化が織りなす笑顔と共生のまち かめおか」 ～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～ まちづくりの基本理念 … 市民の参画と共同の推進／安全・安心・ぬくもりの創出／豊かな自然と先人の知恵の継承・活用 ゾーン別地域振興構想 … にぎわいと街のゾーン: 中心市街地の活性化と快適に移動可能なゾーンの振興 ○振興方針: 多世代がともに居住できる住宅地域の整備や鉄道駅を中心とした公共交通・都市機能の向上、企業の誘致・活性化等により、にぎわいのある中心市街地の活性化を図る
都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 都市機能配置の考え方 本地区については、公共交通の結節点としての機能や、商業・業務機能、図書館、文化資料館等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、古い町並みなどの歴史文化資源などの活用と合わせて、市民や来訪者が愛着を持ち、満足できるよう、既存の都市機能の強化・充実を図るとともに、民間の低未利用地の有効な利活用方策を研究するなど、新たな都市機能の誘導及び既存の都市機能の再配置についても検討を重ねていく。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方
本地区については、必要な誘導施設を一定有しているものの、失われつつある都市の求心力を向上させるため、既存の公共公益機能や都市機能の強化・充実を図るとともに、民間の低未利用地の有効な利活用方策や、新たな都市機能の誘導及び既存の都市機能の再配置について検討を重ねていく。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
JR亀岡駅乗客者数	千人／年	JR亀岡駅の年間乗客者数	駅前道路の快適性向上による駅利用者の増加や、まちなか散策型観光の展開による観光客の増加により、JR亀岡駅の乗客者数の増加を目指す。	3,299	H28	3,300	R5	
対象地区内人口	人	対象地区内の居住人口	人口減少などの中心市街地の空洞化に対し、道路整備や各種生活環境の向上により居住人口の維持を目指す。	12,800	H29	12,800	R5	
城下町の周遊型観光客数	人／年	丹波亀山城宝さがしゲームの年間参加者数	明智光秀が築城した亀山城址を中心とした城下町を訪れる来訪者の増加を目指す。	3,336	H29	5,952	R5	

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり】 ・当地区の有する歴史的資産や建築物等を積極的に活用し、快適かつ良好な生活環境を形成し、亀岡独自の歴史的地区として個性あるまちづくりを行う。		<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)並河亀岡停車場線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 歴史的資源ネットワーク整備 南郷公園及び公園遊歩道修景整備 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
	【目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり】 ・駅周辺の幹線道路の高質化を図ることにより、まちの質感を高め、住民や観光客の満足度を高めるとともに、都市機能と商業の拠点となる利便性や快適性の高いまちづくりを促進し、人々が集い、活動するにぎわいと魅力あふれるまちの再生を推進する。	<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)並河亀岡停車場線修景整備 (都)西町亀岡停車場線 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
	【目標3 住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出】 ・JR亀岡駅から明智光秀が築いた亀山城址及び城下町エリアへの導線となる幹線道路の高質化を図り、城下町の雰囲気を残した整備を行うことにより、駅周辺においては地域住民が憩う場となり、また、観光客にとってはまち歩きを楽しめるようになるなど、住民や来訪者の愛着を高める空間の創出を行う。	<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【公園】 内丸町簡易児童遊園整備 京町簡易児童遊園整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線 歴史的資源ネットワーク整備 南郷公園及び公園遊歩道修景整備 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
その他		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	734.2
---------	-------

00

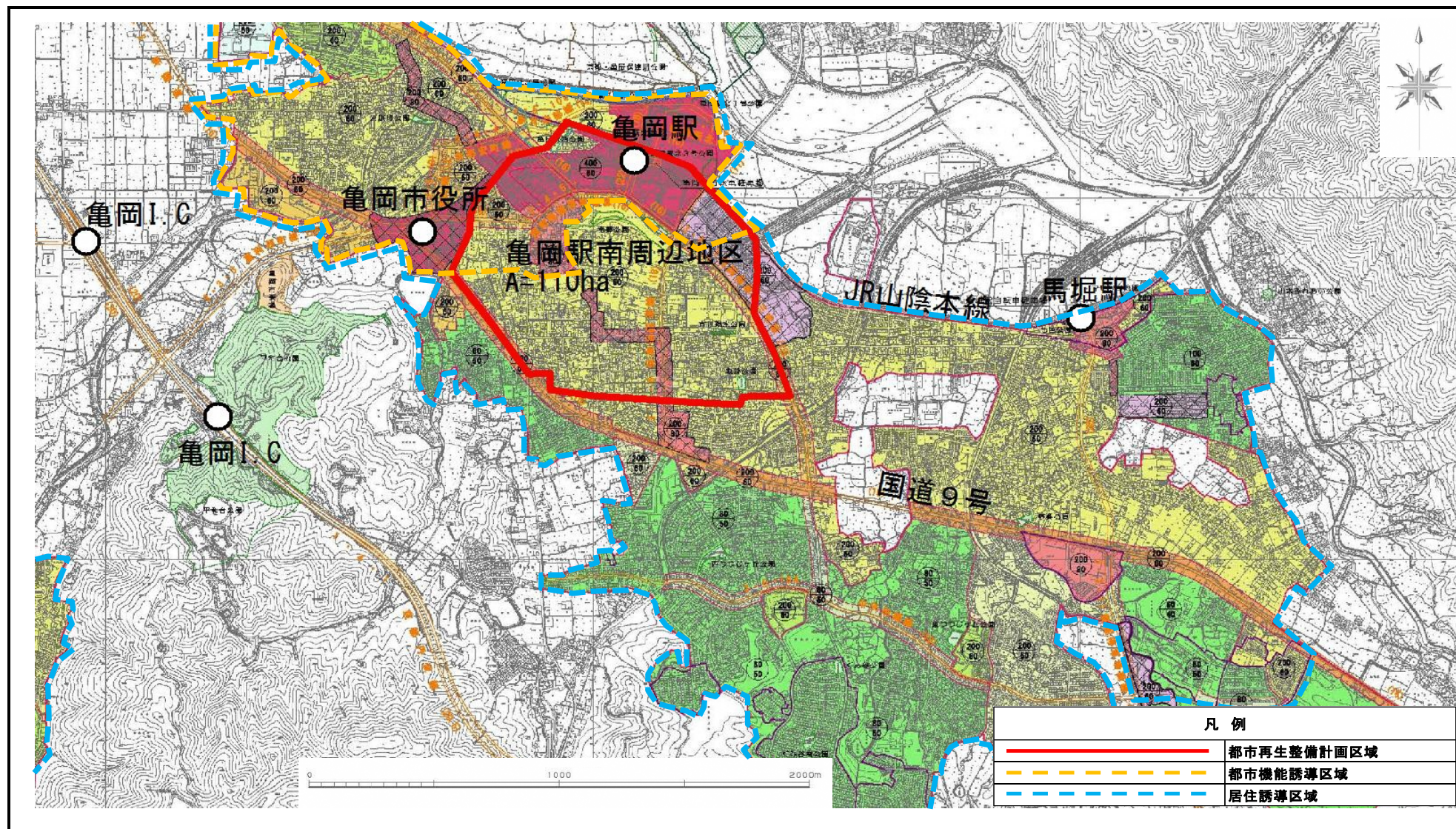
亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市)

面積

約110 ha

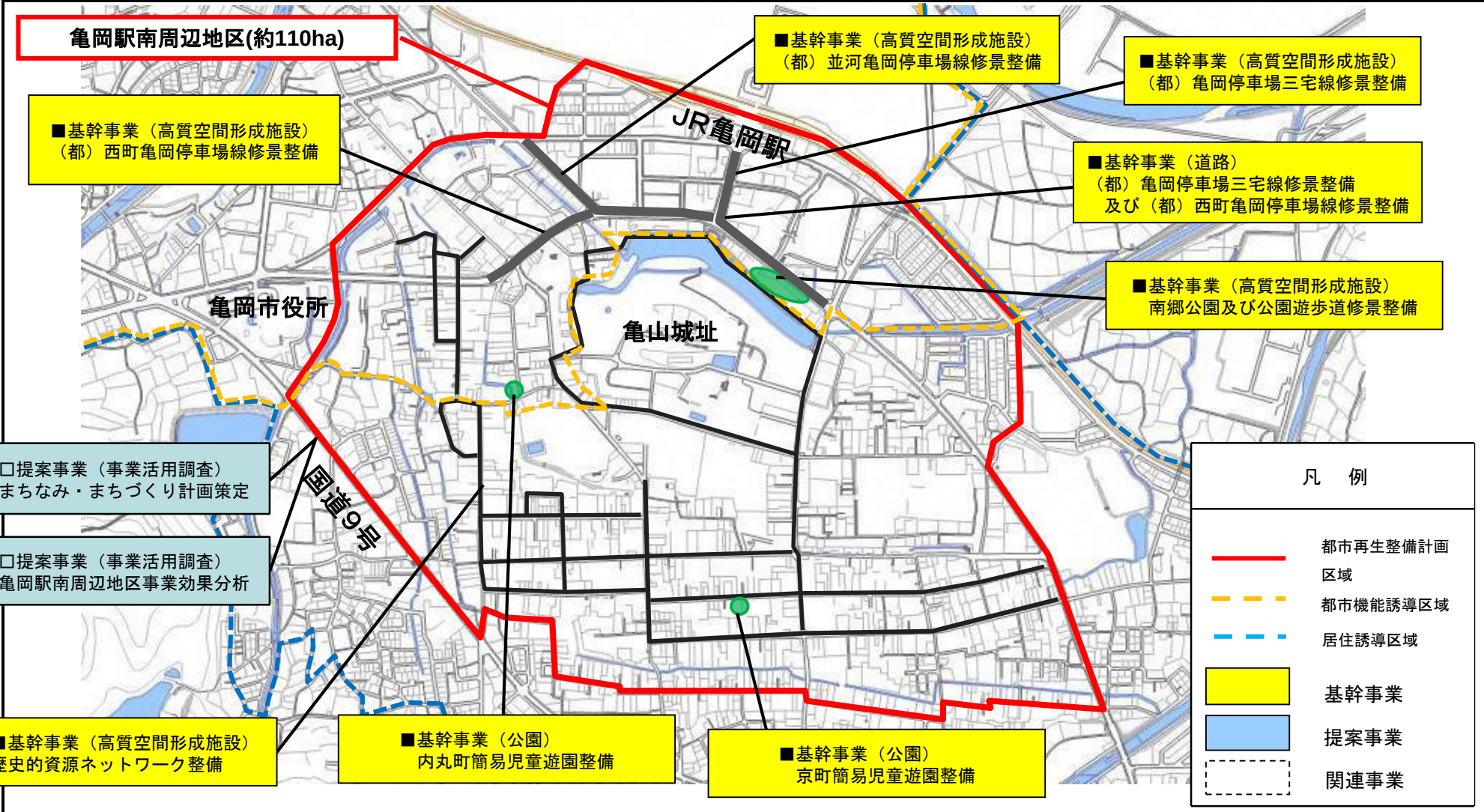
区域

亀岡市東堅町、西堅町、突抜町、横町、京町、呉服町、旅籠町、新町、矢田町、塩屋町、柳町、本町、紺屋町、南郷町、西町、内丸町、北町の全部及び三宅町、古世町、北古世町、下矢田町、追分町、安町の一部



亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:『歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる 新たなまちの顔づくり』	代表的な 指標	JR亀岡駅乗客者数 (千人/年)	3,299 (H28年度) → 3,300 (R5年度)
	目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり		対象地区内人口 (人)	12,800 (H29年度) → 12,800 (R5年度)
	目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり		城下町の周遊型観光客数 (人/年)	3,336 (H29年度) → 5,952 (R5年度)
	目標3 住民や来訪者の愛着を高める空間の創出			



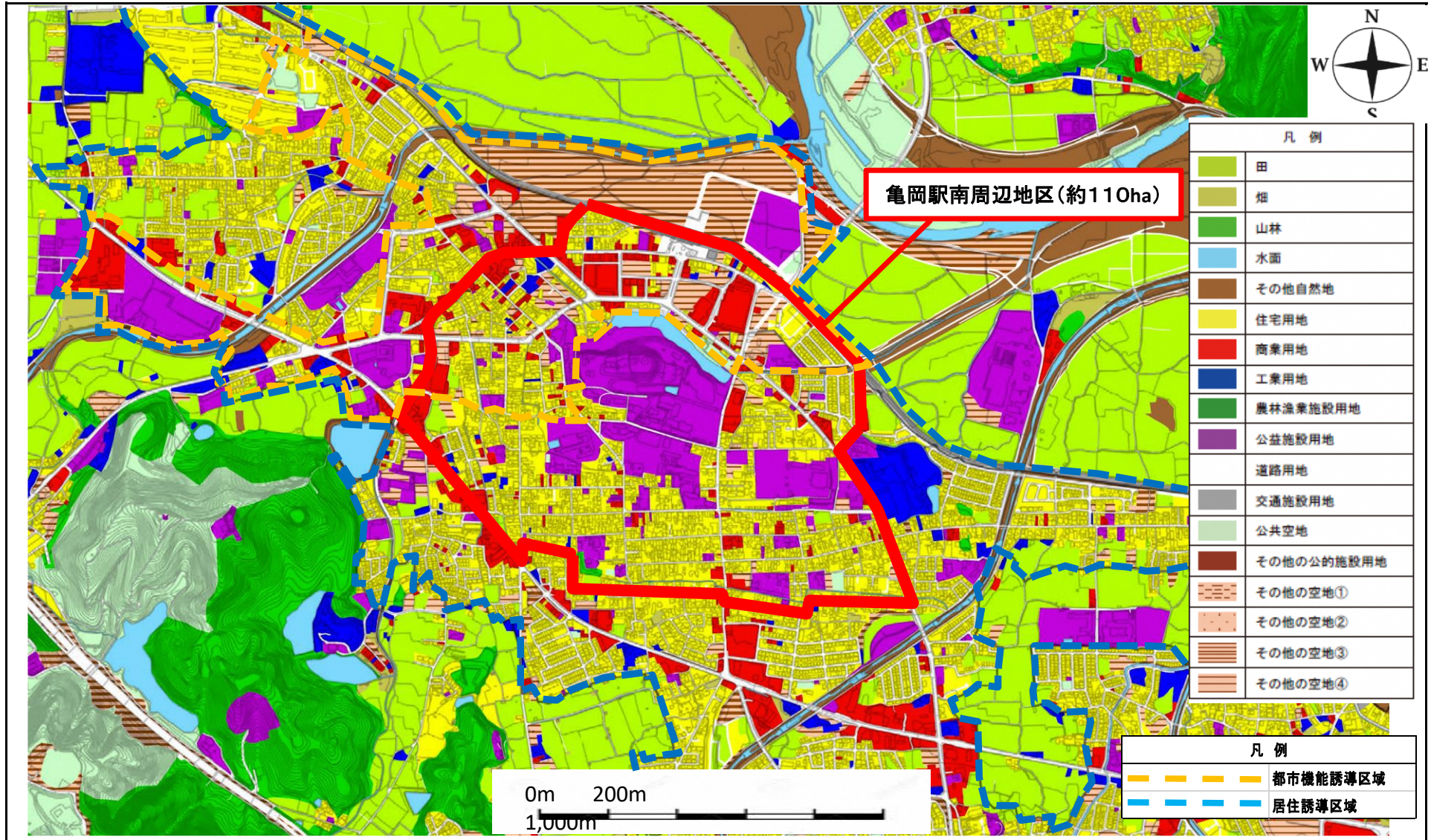
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

かめおか えき みなみゆうへん ちく
亀岡駅南周辺地区（かめおか し京都府亀岡市）

（第6回変更）

亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	361.3 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	2,923.0 百万円	X≤Yゆえ、	本計画における交付限度額	361.3 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	--------	--------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	495,000 m ²
----	------------------------

公共施設の上限整備水準			
区域面積(m ²)		1,100,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

Cl	109,900 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	3
公示価格の平均値(円/m ²)	109,900
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.000
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	0 百万円
-----	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	451000 m ²
----	-----------------------

公共施設の現況整備水準	
○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.41
推定公共施設面積(m ²)	451000

個別公共施設の積み上げ		
-------------	--	--

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	2923 百万円
----------------------	----------

ΣCn	0 円
-----	-----

下水道		0 円
区域面積(m ²)		1,100,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)		
標準整備費(円/m ²)		3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)		0 円
---------------------	--	-----

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	489,900

調整池		0 円
-----	--	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川		0 円
----	--	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設			0 円
------	--	--	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物		0 円
------------------	--	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等		0 円
--------	--	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤		0 円
------	--	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等			0 円
------------------	--	--	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	2923 百万円
---------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集支援事業>	
交付限度額(X1)	361.3 百万円

<都市再生整備計画事業>	
交付限度額(X2)	百万円

<まちなかウォークアブル推進事業>	
交付限度額(X3)	百万円

<交付限度額算定表>

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集集中支援事業)

様式(2)-④-1

【都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業を含む。)から都市構造再編集集中支援事業へ移行する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

本都市再生整備計画において活用した事業に「○」をご選択ください。

☐	都市再生整備計画事業(通常)
☐	都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)
☐	都市再構築戦略事業

<都市再生整備計画事業(通常)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(通常)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	0.400	① (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	9.130	② (事業費)

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)に移行した場合、「変更提出日の前日」を「計画認定日の属する年度の年度末」に読み替え。

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		③ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		④ (事業費)

※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再構築戦略事業の国費率、執行事業費> ※都市再構築戦略事業を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		⑤ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		⑥ (事業費)

<都市構造再編集集中支援事業の国費率、執行事業費>

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	609.5	⑦ (事業費)
	提案事業合計(B)	12.0	⑧ (事業費)
	合計(A+B)	621.5	(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	103.5	⑨ (事業費)
	提案事業合計(D)	0.0	⑩ (事業費)
	合計(C+D)	103.5	(事業費)
	変更提出日以降の執行事業費の総額	725.0	⑪ (事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ ($\alpha 1$)	
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	714.770 ⑫
$(10/9 \times (A+C))$ ($\alpha 2$)	
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C))$	792.222 ⑬
交付要綱に基づく交付限度額(①、②の小さい方 $\times 1/2$)	357.385 ⑭ (国費)
国費率(③ $\div$ (A+B+C+D))	0.493 ⑮ (国費率)

交付限度額(① $\times$ ②+③ $\times$ ④+⑤ $\times$ ⑥+⑪ $\times$ ⑮)	360.977 ⑯ (国費)
--	----------------

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	725.0	(事業費)
------------------	-------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	360.9	⑰ (国費)
国費率	0.498	⑱ (国費率)

年次計画(都市構造再編集集中支援事業)

様式(2)-⑤-1

(事業費:百万円)

基幹事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業	細項目								
道路		(都) 亀岡停車場三宅線修景整備	亀岡市	130	0	0	0	8	122	
公園		(都) 西町亀岡停車場線修景整備	亀岡市	20	0	0	0	2	18	
		内丸町簡易児童遊園整備	亀岡市	22.1	0	0	2.2	19.9	0	
		京町簡易児童遊園整備	亀岡市	19.5	0	0	4.6	14.9	0	
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設										
高質空間形成施設		(都) 亀岡停車場三宅線修景整備	亀岡市	237	0	9	200.1	27.9	0	
		(都) 並河亀岡停車場線修景整備	亀岡市	89	0	2	87	0	0	
		(都) 西町亀岡停車場線修景整備	亀岡市	108	0	2	106	0	0	
		歴史的資源ネットワーク整備	亀岡市	84	0	0	0	70.9	13.1	
		南郷公園及び公園遊歩道修景整備	亀岡市	3.4	0	0	3.4	0	0	
高次都市施設	地域交流センター									
	観光交流センター									
	まちおこしセンター									
	子育て世代活動支援センター									
	複合交通センター									
誘導施設	医療施設									
	社会福祉施設									
	教育文化施設									
	子育て支援施設									
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地総合整備事業										
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				713	0	13	403.3	143.6	153.1	

提案事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業	細項目								
地域創造 支援事業										
事業活用 調査	まちなみ・まちづくり計画策定	亀岡駅南周辺	亀岡市	16.2	9.2	5	0	2	0	
	亀岡駅南周辺地区事業効果分析	亀岡駅南周辺	亀岡市	5	0	0	0	0	5	
まちづくり活動 推進事業										
計				21.2	9.2	5	0	2	5	
合計				734.2	9	18	403.3	145.6	158.1	
累計進捗率（％）					1.3%	3.7%	58.6%	78.5%	100%	

(参考)都市構造再編集集中支援事業関連事業										
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		
合計			0	0	0	0	0	0		
累計進捗率（％）				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

(参考)関連事業										
事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度		
合計			0	0	0	0	0	0		
累計進捗率（％）				#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

[illegible]

道路

単位:百万円

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	交付期間 内事業費	交付期間内事業費内訳			交付期間内 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備 考 注4)
							整備前 m	整備 m				設計費	用地 費・補	施設整備費				
<道路>				－														
(都) 亀岡停車場三宅線	追分町～追分町	地	亀岡市	－		180	22	22	3	5	130	8		122	R4～R5	電線共同溝		
(都) 西町亀岡停車場線	追分町～追分町	地	亀岡市	－		30	16	16	2	3.5	20	2		18	R4～R5	電線共同溝		
	～			－														
	～			－														
	～			－														

(参考)

<関連事業>																		

- * 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人／日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人／日)、混雑度等・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

整備参考イメージ

■基幹事業(道路)
亀岡停車場三宅線及び西町亀岡停車場線

事業費

150百万円

事業期間

令和4年度～令和5年度

修景整備のイメージ



整備前の状況



電線共同溝方式による無電柱化を推進するため、
道路下の管路敷設を実施する。



公園(都市公園補助事業採択要件外)

単位:百万円

公園等名(*1)	種別等(*2)	面積(m ²)	事業主体(*3)	施設概要 (施設名、整備内容等) (*4)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・補償費	施設整備費	
内丸町簡易児童遊園	無	150m ²	亀岡市	四阿、水飲み場 遊戯施設整備	22.1	2.2	19.9		
京町簡易児童遊園	無	307m ²	亀岡市	水飲み場、遊戯施設整 備	19.5	4.6	14.9		
合計	—		—	—	41.6	6.8	34.8		—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。
都市公園でない場合は「無」を記入し、「施設概要」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「施設概要」欄には整備する主な施設名(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)や整備内容を簡潔に記載。

*5 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

整備参考イメージ

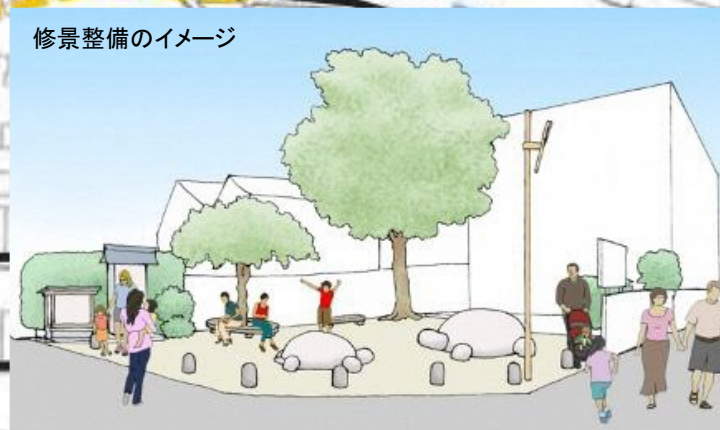
■基幹事業(公園) 内丸町簡易児童遊園整備	事業費	22.1百万円	事業期間	令和3年度～令和4年度
■基幹事業(公園) 京町簡易児童遊園整備	事業費	19.5百万円	事業期間	令和3年度～令和4年度

整備前の状況(内丸町簡易児童遊園)



■基幹事業(公園)
〔内丸町簡易児童遊園整備〕
A=150㎡
C=22,100(千円)

修景整備のイメージ



整備前の状況(京町簡易児童遊園)



■基幹事業(高質空間形成施設)
〔京町簡易児童遊園整備〕
A=307㎡
C=19,500(千円)

現状の遊具等が設置されている状況から、地区住民の憩いの場所、休憩場所、活動場所として活用できるような、多目的な空間を創出する公園整備を行う。
憩いの場所には、地域に馴染みの深いモチーフとなるオブジェを設ける等、小さいスペースながらも愛着の持てる空間とする。

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	(都) 亀岡停車場三宅線	亀岡市	修景施設整備 L=400m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)、モニュメント等	237	17		220	
	(都) 並河亀岡停車場線	亀岡市	修景施設整備 L=200m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	89	2		87	
	(都) 西町亀岡停車場線	亀岡市	修景施設整備 L=400m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	108	2		106	
	歴史的施設ネットワーク整備	亀岡市	修景施設整備 L=5,000m 自然石風舗装(車道部)、側溝蓋(洗い出し仕上げ)等	84	0		84	
	南郷公園及び公園遊歩道	亀岡市	修景施設整備 A=6,950㎡ 植栽・緑化施設、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	3.4	3.4		0	
合計	—	—	—	521.4	24.4		497	

整備参考イメージ

■基幹事業（高質空間形成施設）
亀岡停車場三宅線修景整備

事業費

237百万円

事業期間

令和2年度～令和4年度

修景整備のイメージ



整備前の状況

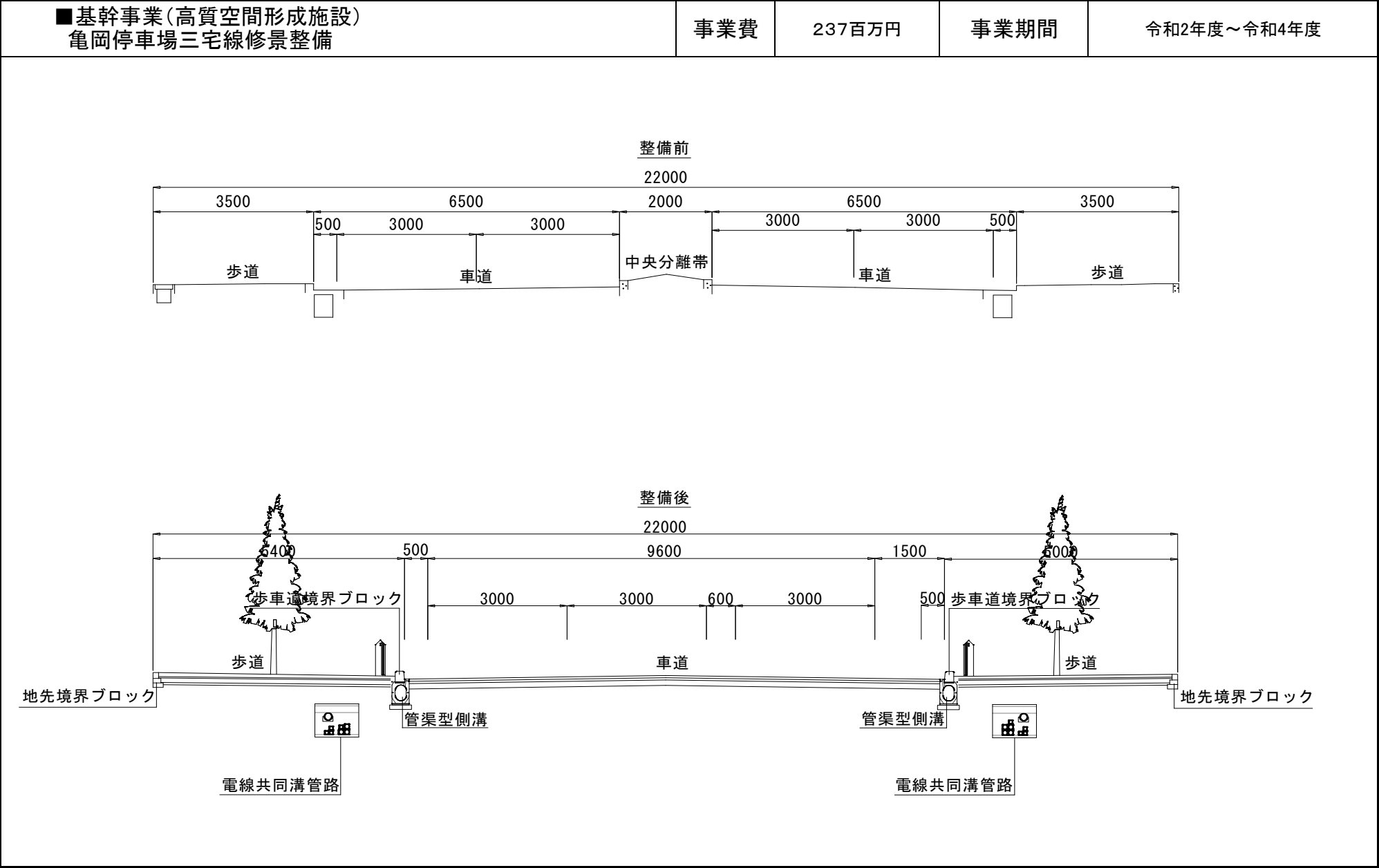


駅前部は、現況両側歩道、車道4車線、中央分離帯の幅員構成を、両側歩道、車道2車線（右折レーン設置により実質3車線）に変更し、広く確保した歩道部をにぎわいの創出や快適性を向上させる修景整備を行う。併せて、自治体主導による無電柱化を推進するため、道路下の管路敷設を実施する。



■基幹事業（高質空間形成施設）
〔亀岡停車場三宅線修景整備〕
L=400m
C=237,000（千円）

整備参考イメージ



整備参考イメージ

■基幹事業(高質空間形成施設) (都)西町亀岡停車場線修景整備	事業費	108百万円	事業期間	令和2年度～令和3年度
■基幹事業(高質空間形成施設) 並河亀岡停車場線修景整備	事業費	89百万円	事業期間	令和2年度～令和3年度



整備参考イメージ

④ ■基幹事業(高質空間形成施設) 歴史的資源ネットワーク整備	事業費	84百万円	事業期間	令和4年度～令和5年度
--	-----	-------	------	-------------

修景整備のイメージ

亀山城址

修景整備のイメージ

整備前の状況

整備前の状況

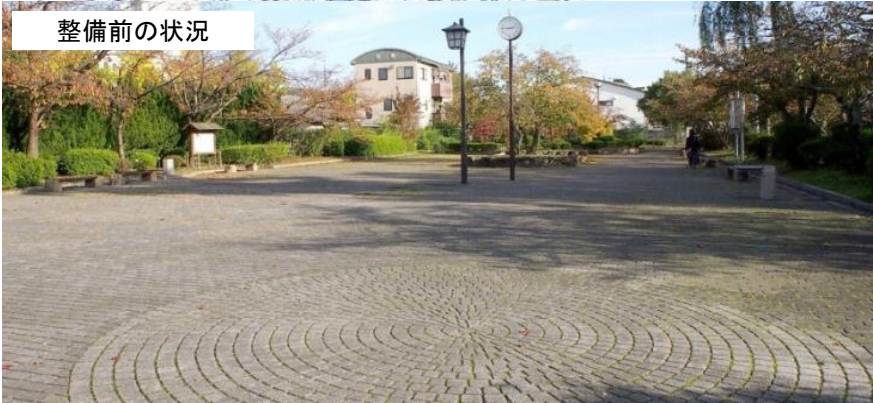
歴史的な景観と調和した道路の修景整備を行う。(車道部のカラー舗装や道路側溝の天端や蓋の洗い出し仕上げ、常夜灯の整備等)

■基幹事業(高質空間形成施設)
〔歴史的資源ネットワーク整備〕
L=5,000m
C=84,000(千円)

整備参考イメージ

■基幹事業(高質空間形成施設) 南郷公園及び公園遊歩道修景整備	事業費	3.4百万円	事業期間	令和3年度
--	-----	--------	------	-------

整備前の状況



亀岡市役所

修景整備のイメージ



■基幹事業(高質空間形成施設)
〔南郷公園及び公園遊歩道修景整備〕
A=6,950㎡
C=3,400(千円)

JR亀岡駅

亀山城址

現状のブロック舗装から芝生化することで、「座る」「寝そべる」「たたずむ」等、さまざまな使い方を誘発し、自然と立ち寄りたくなる場所づくりを目指し、地区住民及び来訪者の快適性、満足度を高める修景整備を行う。
また、南郷公園から遊歩道及び南郷池への視認性を高め、一体感のある修景整備を行う。



都市再構築支援事業事前評価シート

計画の名称： 亀岡駅南周辺地区 事業主体名： 亀岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

かめおかえきみなみしゅうへん
亀岡駅南周辺地区（京都府亀岡市）
（都市構造再編集集中支援事業）

1. 地区概要

本地区は、J R 亀岡駅の南側に位置し、駅前ゾーンについては、土地の有効活用が図られていない面が見られるなどの課題がある。また、市街地ゾーンについては、旧城下町を中心に古いまちなみや、鉾に代表される地域の歴史文化などが数多く残されるゾーンであるが、全体として周遊型観光に対応する地域の形成や地域住民全体の景観形成、おもてなしの機運づくりを進めていく必要がある。

このことから、J R 亀岡駅周辺の幹線道路を中心とした本市の顔となる拠点づくりや、古くから城下町として発展してきた歴史的環境の保全整備を一体的に整備する。

2. 計画内容

所在地：京都府亀岡市

事業主体：亀岡市

面積：110ha

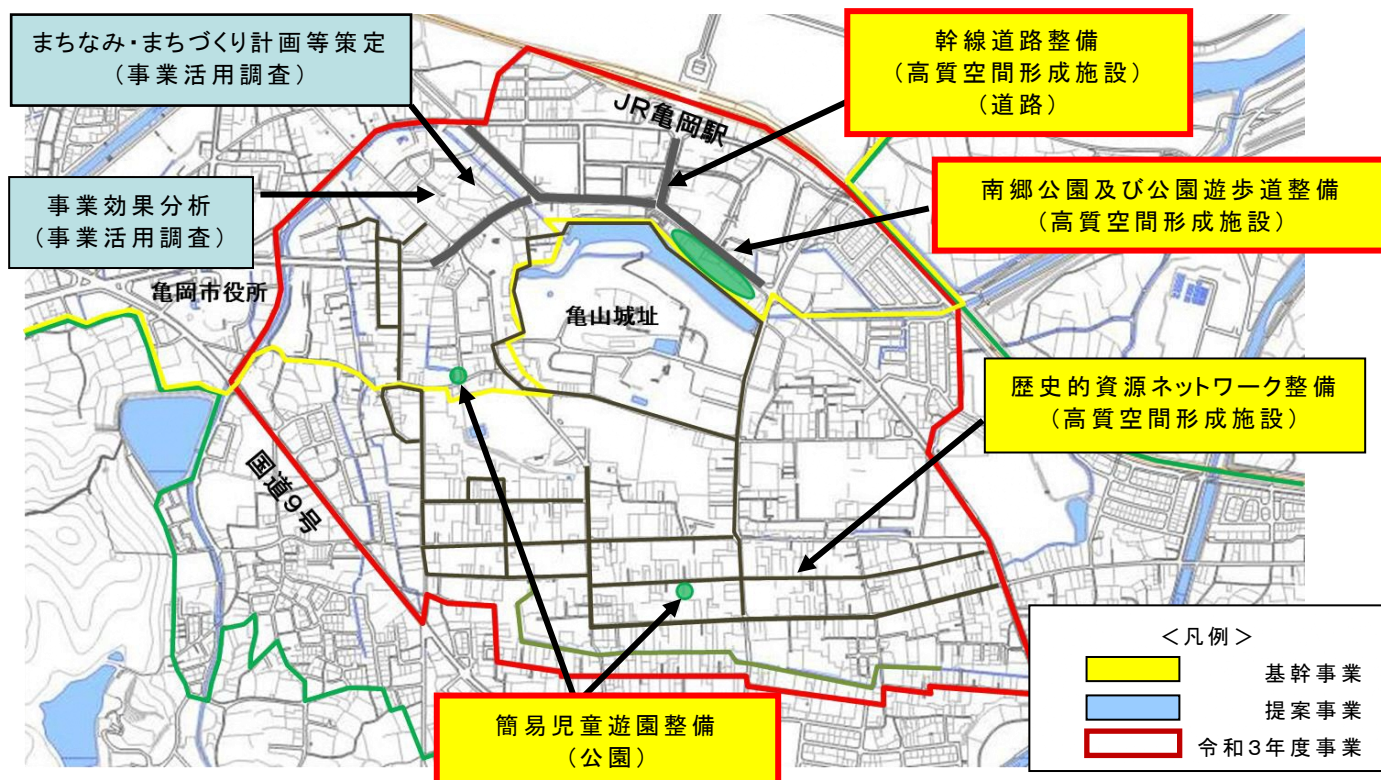
交付期間：令和元年度～令和5年度

事業費：全体734.2百万円

（国費：361.3百万円）

事業内容：高質空間形成施設整備、事業活用調査

当該地区



都市再生整備計画

かめおかえきみなみしゅうへん
亀岡駅南周辺地区

(第6回変更)

きょうとふ かめおか し
京都府 亀岡市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業	☐
まちなかワークابل推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	京都府	市町村名	かめおかし 亀岡市	地区名	かめおかろきみなみめうへへく 亀岡駅南周辺地区	面積	約110 ha
計画期間	令和元年度～令和5年度	交付期間	令和元年度～令和5年度				

目標
大目標『歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる新たなまちの顔づくり』 目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり 目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり 目標3 住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方えを含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本市は、周囲を山々に囲まれた豊かな自然と、長い歴史の中で培われた伝統文化など、豊富な地域資源を有した都市として、主にJR山陰本線と国道9号に沿って市街地を形成し、多くの都市機能が集積している。しかしながら、近年の少子高齢社会の進行や人口減少社会の進展などの急激な社会構造の変化に対して、まちづくりにおいてもその対応が求められている。 とりわけ本市の中心拠点となるJR亀岡駅周辺については、高次都市機能が集積し、公共交通の中枢となるターミナル機能を有する地区として位置付けており、商業・業務機能をはじめ、さまざまな都市機能の維持・誘導を図っていく地区としている。しかしながら、民間が保有する低未利用地も散見され、都市としての求心力も低下しつつある。一方で、中心市街地には古い町並みなどの歴史文化資源が残されていることから、観光資源として活用し、交流人口のさらなる拡大を図りながら、中心拠点における低未利用地を活用したにぎわいづくりや、既存ストックの再編による都市の魅力向上に取り組む。 また、市内のJR各駅周辺を地域拠点と位置付け、必要な都市機能の維持・誘導を図りながら、道路・公共交通ネットワークの整備・機能強化により、他の地域拠点・産業拠点等との連携を促進し、「集約拠点ネットワーク型都市」の形成を目指す。
まちづくりの経緯及び現況
当地区は、JR亀岡駅南側を中心とする本市の交通結節点となっている駅前ゾーンと、地区の南側にあり亀山城の城下町をベースに形成されている市街地ゾーンに大別されており、歴史的発展過程を見ると、高度経済成長期以前までは、旧城下町が本市の都市的サービスを提供する中心的役割を担っていたが、人口の急増に対し、駅周辺のみで都市拡大を行うことが困難であったことと、自動車社会の進展や、地区南側の郊外に大規模な住宅団地が形成されたこと等により、都市軸が国道9号を中心に形成されるとともに、都市機能が分散したため、相対的にJR亀岡駅周辺地区のポテンシャルが低下してきた。 駅前ゾーンについては、大型商業店舗が2店舗立地するなど商業地としての性格を有しているが、駅前に大型平面駐車場が広がるなど、土地の有効活用が十分に図られていないほか、本市の顔となる立地でありながら、修景面において駅周辺の住民や、本市を訪れる観光客にとっての満足度が不十分な面がある。 市街地ゾーンについては、今もなお数多く点在する社寺や伝統的な町家による町並み、城下町であったころの町割りが残されており、歴史文化景観的に価値の高い地区となっている。
課題
駅前ゾーンについては、JR山陰本線の複線化やJR亀岡駅舎の改築、主要地方道亀岡園部線の延伸整備など大規模なインフラ整備が完了し、地域の交通条件が大きく変化したほか、地区の北側では土地区画整理事業による新たなまちづくりや、府立京都スタジアムが建設されたことなどから、当地区においてもこれらを契機としたまちづくりの展開が望まれている。 市街地ゾーンについては、旧城下町を中心に古い町並みや、山鉾に代表される地域の歴史文化などが数多く残されているゾーンであり、また、2020年NHK大河ドラマが明智光秀を主人公とした「麒麟が来る」に決定したこともあり、景観的配慮を行った街路の延伸や観光対応機能の充実、地域住民主体の景観形成やもてなしの機運づくりを図り、当地区の有する歴史的資産や建造物を積極的に活用した亀岡独自の歴史的地区として個性あるまちづくりを展開し、全体として周遊型観光に対応する地域を形成していくことが必要となっている。
将来ビジョン(中長期) 【総合計画】 第4次亀岡市総合計画(平成23年1月策定)に位置付けられたまちづくりの基本方針 目指すべき都市像 … 「水・緑・文化が織りなす笑顔と共生のまち かめおか」 ～セーフコミュニティの推進とにぎわいのまちづくり～ まちづくりの基本理念 … 市民の参画と共同の推進／安全・安心・ぬくもりの創出／豊かな自然と先人の知恵の継承・活用 ゾーン別地域振興構想 … にぎわいと街のゾーン: 中心市街地の活性化と快適に移動可能なゾーンの振興 ○振興方針: 多世代がともに居住できる住宅地域の整備や鉄道駅を中心とした公共交通・都市機能の向上、企業の誘致・活性化等により、にぎわいのある中心市街地の活性化を図る
都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 都市機能配置の考え方 本地区については、公共交通の結節点としての機能や、商業・業務機能、図書館、文化資料館等の公共公益機能をもとより有しているところであるが、古い町並みなどの歴史文化資源などの活用と合わせて、市民や来訪者が愛着を持ち、満足できるよう、既存の都市機能の強化・充実を図るとともに、民間の低未利用地の有効な利活用方策を研究するなど、新たな都市機能の誘導及び既存の都市機能の再配置についても検討を重ねていく。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方
本地区については、必要な誘導施設を一定有しているものの、失われつつある都市の求心力を向上させるため、既存の公共公益機能や都市機能の強化・充実を図るとともに、民間の低未利用地の有効な利活用方策や、新たな都市機能の誘導及び既存の都市機能の再配置について検討を重ねていく。
都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標								
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度	
JR亀岡駅乗客者数	千人／年	JR亀岡駅の年間乗客者数	駅前道路の快適性向上による駅利用者の増加や、まちなか散策型観光の展開による観光客の増加により、JR亀岡駅の乗客者数の増加を目指す。	3,299	H28	3,300	R5	
対象地区内人口	人	対象地区内の居住人口	人口減少などの中心市街地の空洞化に対し、道路整備や各種生活環境の向上により居住人口の維持を目指す。	12,800	H29	12,800	R5	
城下町の周遊型観光客数	人／年	丹波亀山城宝さがしゲームの年間参加者数	明智光秀が築城した亀山城址を中心とした城下町を訪れる来訪者の増加を目指す。	3,336	H29	5,952	R5	

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり】 ・当地区の有する歴史的資産や建築物等を積極的に活用し、快適かつ良好な生活環境を形成し、亀岡独自の歴史的地区として個性あるまちづくりを行う。		<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)並河亀岡停車場線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 歴史的資源ネットワーク整備 南郷公園及び公園遊歩道修景整備 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
	【目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり】 ・駅周辺の幹線道路の高質化を図ることにより、まちの質感を高め、住民や観光客の満足度を高めるとともに、都市機能と商業の拠点となる利便性や快適性の高いまちづくりを促進し、人々が集い、活動するにぎわいと魅力あふれるまちの再生を推進する。	<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)並河亀岡停車場線修景整備 (都)西町亀岡停車場線 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
	【目標3 住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出】 ・JR亀岡駅から明智光秀が築いた亀山城址及び城下町エリアへの導線となる幹線道路の高質化を図り、城下町の雰囲気を残した整備を行うことにより、駅周辺においては地域住民が憩う場となり、また、観光客にとってはまち歩きを楽しめるようになるなど、住民や来訪者の愛着を高める空間の創出を行う。	<基幹事業> 【道路】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線修景整備 【公園】 内丸町簡易児童遊園整備 京町簡易児童遊園整備 【高質空間形成施設】 (都)亀岡停車場三宅線修景整備 (都)西町亀岡停車場線 歴史的資源ネットワーク整備 南郷公園及び公園遊歩道修景整備 <提案事業> 【事業活用調査】 まちなみ・まちづくり計画策定 亀岡駅南周辺地区事業効果分析
その他		

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

統合したB/Cを記入してください

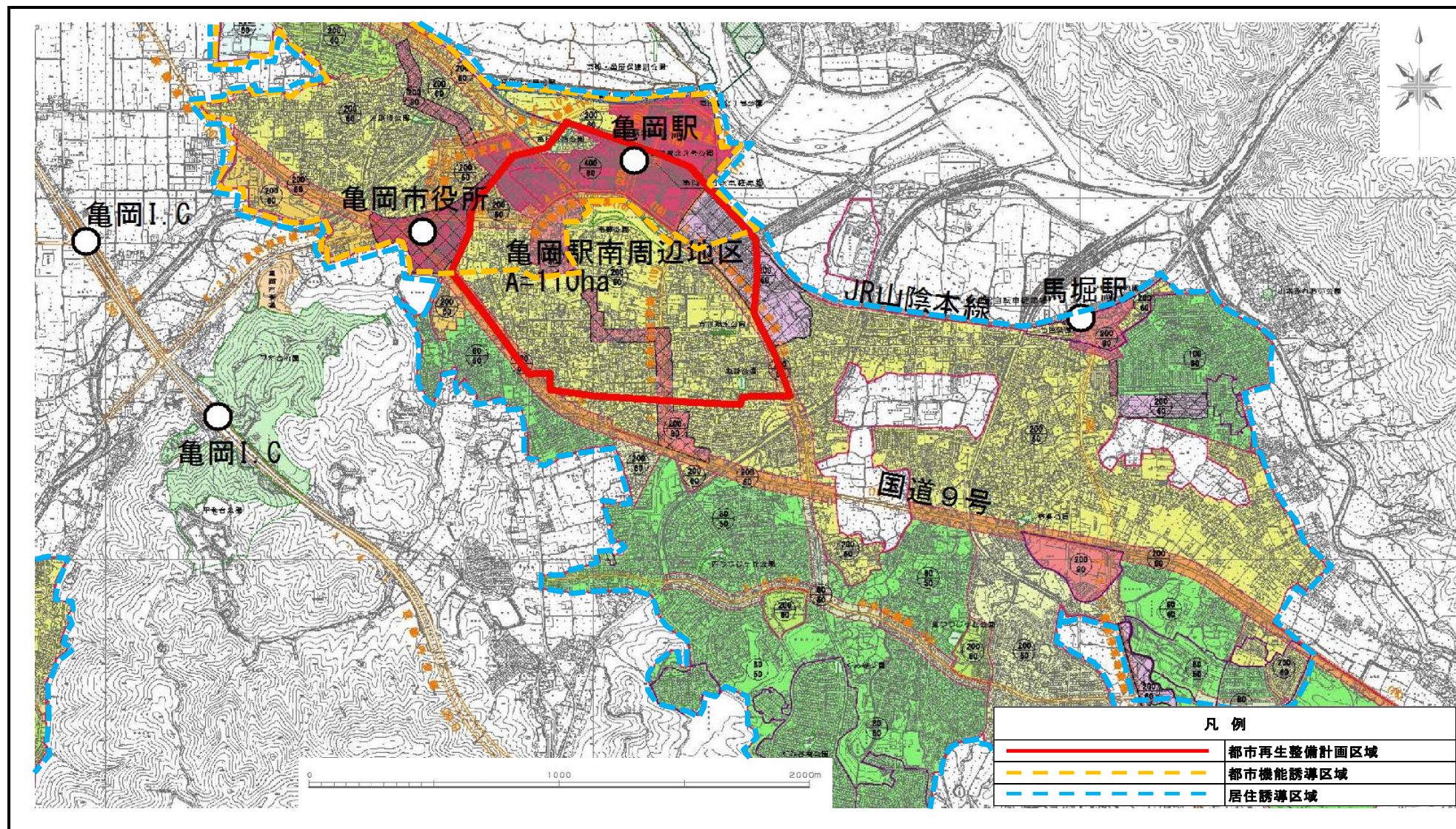
合計(A+B)	734.2
---------	-------

00

亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市)

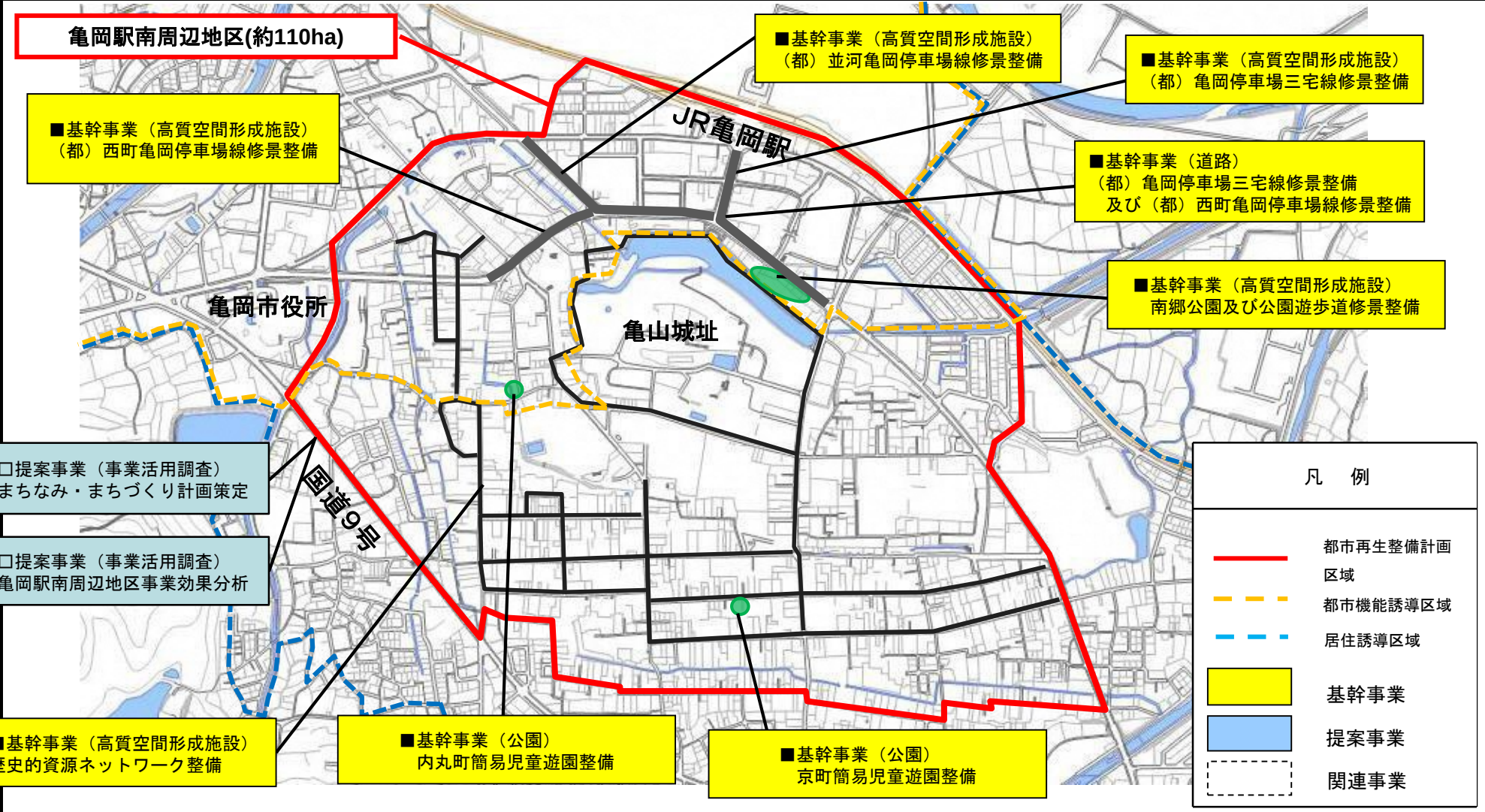
面積 約110 ha

区域 亀岡市東堅町、西堅町、突抜町、横町、京町、呉服町、旅籠町、新町、矢田町、塩屋町、柳町、本町、紺屋町、南郷町、西町、内丸町、北町の全部及び三宅町、古世町、北古世町、下矢田町、追分町、安町の一部



亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標:『歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる 新たなまちの顔づくり』	代表的な 指標	JR亀岡駅乗客者数 (千人／年)	3,299 (H28年度) → 3,300 (R5年度)
	目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり		対象地区内人口 (人)	12,800 (H29年度) → 12,800 (R5年度)
	目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり		城下町の周遊型観光客数 (人／年)	3,336 (H29年度) → 5,952 (R5年度)
	目標3 住民や来訪者の愛着を高める空間の創出			



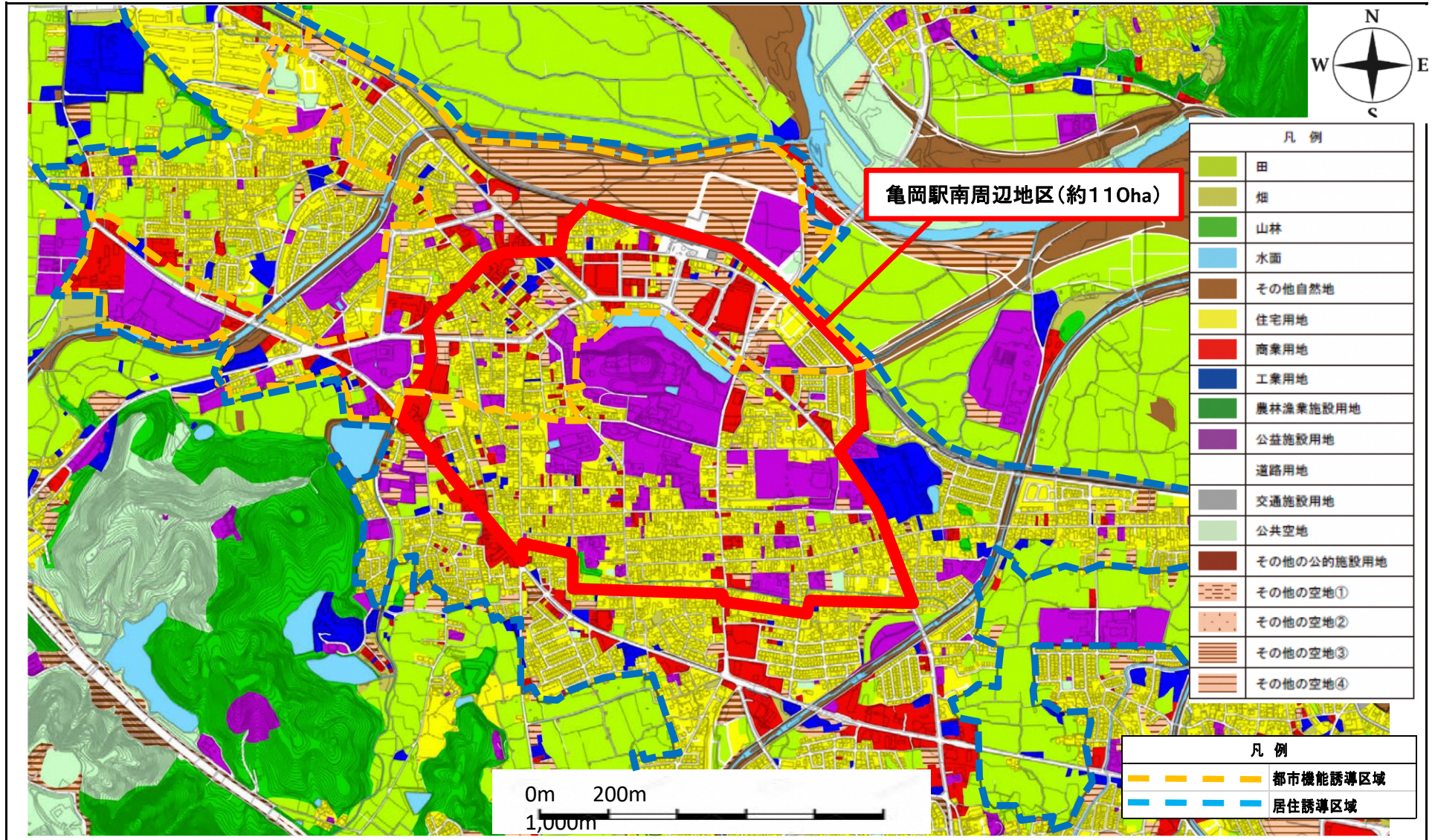
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

かめおか えき みなみゆうへん ちく
亀岡駅南周辺地区（かめおか し京都府亀岡市）

（第6回変更）

亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

亀岡駅南周辺地区(京都府亀岡市) 様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	361.3 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	2,923.0 百万円	X≤Yゆえ、	本計画における交付限度額	361.3 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	--------	--------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	495,000 m ²
----	------------------------

公共施設の上限整備水準			
区域面積(m ²)		1,100,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

Cl	109,900 円/m ²
----	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	3
公示価格の平均値(円/m ²)	109,900
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.000
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
----	-------------------------

控除額	0 百万円
-----	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

Ap	451000 m ²
----	-----------------------

公共施設の現況整備水準	
○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.41
推定公共施設面積(m ²)	451000

個別公共施設の積み上げ		
-------------	--	--

	面積(m ²)	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	2923 百万円
----------------------	----------

ΣCn	0 円
-----	-----

下水道	0 円
区域面積(m ²)	1,100,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
---------------------	-----

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	489,900

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)		超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	2923 百万円
---------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集支援事業>	
交付限度額(X1)	361.3 百万円

<都市再生整備計画事業>	
交付限度額(X2)	百万円

<まちなかウォークアブル推進事業>	
交付限度額(X3)	百万円

<交付限度額算定表>

交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集集中支援事業)

様式(2)-④-1

【都市再生整備計画事業(都市再構築戦略事業を含む。)から都市構造再編集集中支援事業へ移行する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

本都市再生整備計画において活用した事業に「○」をご選択ください。

☐	都市再生整備計画事業(通常)
☐	都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)
☐	都市再構築戦略事業

<都市再生整備計画事業(通常)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(通常)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)	0.400	① (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費	9.130	② (事業費)

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)に移行した場合、「変更提出日の前日」を「計画認定日の属する年度の年度末」に読み替え。

※都市再生整備計画事業(通常)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)の国費率、執行事業費> ※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		③ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		④ (事業費)

※都市再生整備計画事業(国の重要施策に合致したもの)から都市再構築戦略事業に移行した場合、「変更提出日の前日までの執行事業費」を「変更提出日の属する年度の年度末までの執行事業費」に読み替え。

<都市再構築戦略事業の国費率、執行事業費> ※都市再構築戦略事業を活用した場合のみ記入

国費率(変更提出日の前日における交付限度額を交付対象事業費で除した値)		⑤ (国費率)
変更提出日の前日までの執行事業費		⑥ (事業費)

<都市構造再編集集中支援事業の国費率、執行事業費>

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	609.5	⑦ (事業費)
	提案事業合計(B)	12.0	⑧ (事業費)
	合計(A+B)	621.5	(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は○を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外>

交付対象事業費	基幹事業合計(C)	103.5	⑨ (事業費)
	提案事業合計(D)	0.0	⑩ (事業費)
	合計(C+D)	103.5	(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$ (α1)	
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D))$	714.770 ⑫
$(10/9 \times (A+C))$ (α2)	
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C))$	792.222 ⑬
交付要綱に基づく交付限度額(①、②の小さい方×1/2)	357.385 ⑭ (国費)
国費率(③÷(A+B+C+D))	0.493 ⑮ (国費率)

変更提出日以降の執行事業費の総額	725.0	⑪ (事業費)
------------------	-------	---------

交付限度額(①×②+③×④+⑤×⑥+⑪×⑮)	360.977 ⑯ (国費)
------------------------	----------------

○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D)	725.0	(事業費)
------------------	-------	-------

交付要綱に基づく交付限度額 (⑯を1万円の位を切り捨て)	360.9	⑰ (国費)
国費率	0.498	⑱ (国費率)

年次計画(都市構造再編集集中支援事業)

様式(2)-⑤-1

(事業費:百万円)

基幹事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業	細項目								
道路		(都) 亀岡停車場三宅線修景整備	亀岡市	130	0	0	0	8	122	
公園		(都) 西町亀岡停車場線修景整備	亀岡市	20	0	0	0	2	18	
		内丸町簡易児童遊園整備	亀岡市	22.1	0	0	2.2	19.9	0	
		京町簡易児童遊園整備	亀岡市	19.5	0	0	4.6	14.9	0	
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設										
高質空間形成施設		(都) 亀岡停車場三宅線修景整備	亀岡市	237	0	9	200.1	27.9	0	
		(都) 並河亀岡停車場線修景整備	亀岡市	89	0	2	87	0	0	
		(都) 西町亀岡停車場線修景整備	亀岡市	108	0	2	106	0	0	
		歴史的資源ネットワーク整備	亀岡市	84	0	0	0	70.9	13.1	
		南郷公園及び公園遊歩道修景整備	亀岡市	3.4	0	0	3.4	0	0	
高次都市施設	地域交流センター									
	観光交流センター									
	まちおこしセンター									
	子育て世代活動支援センター									
	複合交通センター									
誘導施設	医療施設									
	社会福祉施設									
	教育文化施設									
	子育て支援施設									
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地総合整備事業										
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
計				713	0	13	403.3	143.6	153.1	

提案事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	事業	細項目								
地域創造 支援事業										
事業活用 調査	まちなみ・まちづくり計画策定	亀岡駅南周辺	亀岡市	16.2	9.2	5	0	2	0	
	亀岡駅南周辺地区事業効果分析	亀岡駅南周辺	亀岡市	5	0	0	0	0	5	
まちづくり活動 推進事業										
計				21.2	9.2	5	0	2	5	
合計				734.2	9	18	403.3	145.6	158.1	
累計進捗率（％）					1.3%	3.7%	58.6%	78.5%	100%	

(参考)都市構造再編集集中支援事業関連事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
合計				0	0	0	0	0	0	
累計進捗率（％）					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

(参考)関連事業										
事業	事業箇所名		事業主体	交付対象 事業費	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
合計				0	0	0	0	0	0	
累計進捗率（％）					#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業

(単位:百万円)

[illegible]

道路

単位:百万円

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	交付期間 内事業費	交付期間内事業費内訳			交付期間内 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備 考 注4)
							整備前 m	整備 m				設計費	用地 費・補	施設整備費				
<道路>				－														
(都) 亀岡停車場三宅線	追分町～追分町	地	亀岡市	－		180	22	22	3	5	130	8		122	R4～R5	電線共同溝		
(都) 西町亀岡停車場線	追分町～追分町	地	亀岡市	－		30	16	16	2	3.5	20	2		18	R4～R5	電線共同溝		
	～			－														
	～			－														
	～			－														

(参考)

<関連事業>																		

- * 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人／日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人／日)、混雑度等・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

整備参考イメージ

■基幹事業(道路)
亀岡停車場三宅線及び西町亀岡停車場線

事業費

150百万円

事業期間

令和4年度～令和5年度

修景整備のイメージ



整備前の状況



電線共同溝方式による無電柱化を推進するため、
道路下の管路敷設を実施する。



公園(都市公園補助事業採択要件外)

単位:百万円

公園等名(*1)	種別等(*2)	面積(m ²)	事業主体(*3)	施設概要 (施設名、整備内容等) (*4)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・補償費	施設整備費	
内丸町簡易児童遊園	無	150m ²	亀岡市	四阿、水飲み場 遊戯施設整備	22.1	2.2	19.9		
京町簡易児童遊園	無	307m ²	亀岡市	水飲み場、遊戯施設整 備	19.5	4.6	14.9		
合計	—		—	—	41.6	6.8	34.8		—

*1 公園等名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。

*2 「種別等」欄には、都市公園の種別である「街区公園」、「近隣公園」、「地区公園」、「特定地区公園」、「総合公園」、「運動公園」、「動植物公園」、「歴史公園」、「広域公園」、「レクリエーション都市」、「風致公園」、「墓園」、「緩衝緑地」、「都市緑地」、「緑道」のいずれかを記入。
都市公園でない場合は「無」を記入し、「施設概要」欄に制度上の位置付け(条例設置公園等)を簡潔に記載。

*3 「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

*4 「施設概要」欄には整備する主な施設名(園路、植栽、あずまや、体験学習施設等)や整備内容を簡潔に記載。

*5 青色で着色してあるセルは自動計算されるので入力しないこと。

整備参考イメージ

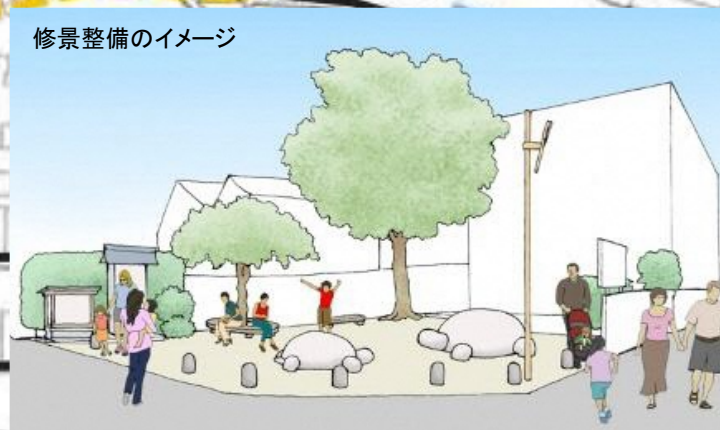
■基幹事業(公園) 内丸町簡易児童遊園整備	事業費	22.1百万円	事業期間	令和3年度～令和4年度
■基幹事業(公園) 京町簡易児童遊園整備	事業費	19.5百万円	事業期間	令和3年度～令和4年度

整備前の状況(内丸町簡易児童遊園)



■基幹事業(公園)
〔内丸町簡易児童遊園整備〕
A=150㎡
C=22,100(千円)

修景整備のイメージ



整備前の状況(京町簡易児童遊園)



■基幹事業(高質空間形成施設)
〔京町簡易児童遊園整備〕
A=307㎡
C=19,500(千円)

現状の遊具等が設置されている状況から、地区住民の憩いの場所、休憩場所、活動場所として活用できるような、多目的な空間を創出する公園整備を行う。
憩いの場所には、地域に馴染みの深いモチーフとなるオブジェを設ける等、小さいスペースながらも愛着の持てる空間とする。

高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	(都) 亀岡停車場三宅線	亀岡市	修景施設整備 L=400m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)、モニュメント等	237	17		220	
	(都) 並河亀岡停車場線	亀岡市	修景施設整備 L=200m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	89	2		87	
	(都) 西町亀岡停車場線	亀岡市	修景施設整備 L=400m 植栽・緑化施設、自然石風舗装(歩道部)、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	108	2		106	
	歴史的施設ネットワーク整備	亀岡市	修景施設整備 L=5,000m 自然石風舗装(車道部)、側溝蓋(洗い出し仕上げ)等	84	0		84	
	南郷公園及び公園遊歩道	亀岡市	修景施設整備 A=6,950㎡ 植栽・緑化施設、照明施設、ストリートファニチャー(車止め・ベンチ)等	3.4	3.4		0	
合計	—	—	—	521.4	24.4		497	

整備参考イメージ

■基幹事業（高質空間形成施設）
亀岡停車場三宅線修景整備

事業費

237百万円

事業期間

令和2年度～令和4年度

修景整備のイメージ



整備前の状況

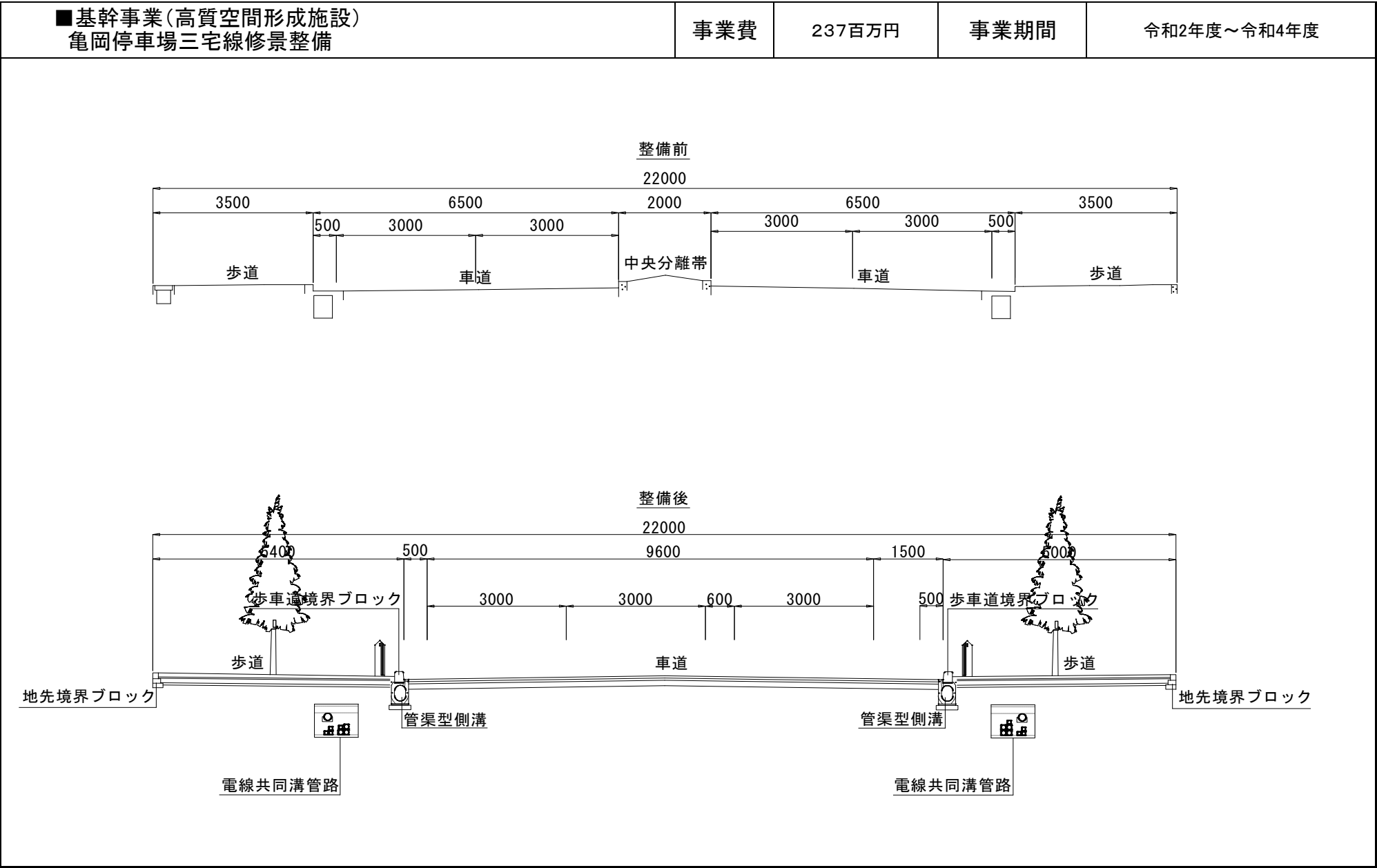


駅前部は、現況両側歩道、車道4車線、中央分離帯の幅員構成を、両側歩道、車道2車線（右折レーン設置により実質3車線）に変更し、広く確保した歩道部をにぎわいの創出や快適性を向上させる修景整備を行う。併せて、自治体主導による無電柱化を推進するため、道路下の管路敷設を実施する。



■基幹事業（高質空間形成施設）
〔亀岡停車場三宅線修景整備〕
L=400m
C=237,000（千円）

整備参考イメージ



整備参考イメージ

■基幹事業(高質空間形成施設) (都)西町亀岡停車場線修景整備	事業費	108百万円	事業期間	令和2年度～令和3年度
■基幹事業(高質空間形成施設) 並河亀岡停車場線修景整備	事業費	89百万円	事業期間	令和2年度～令和3年度



整備参考イメージ

④ ■基幹事業(高質空間形成施設) 歴史的資源ネットワーク整備	事業費	84百万円	事業期間	令和4年度～令和5年度
--	-----	-------	------	-------------

修景整備のイメージ

亀山城址

修景整備のイメージ

整備前の状況

整備前の状況

歴史的な景観と調和した道路の修景整備を行う。(車道部のカラー舗装や道路側溝の天端や蓋の洗い出し仕上げ、常夜灯の整備等)

■基幹事業(高質空間形成施設)
〔歴史的資源ネットワーク整備〕
L=5,000m
C=84,000(千円)

整備参考イメージ

■基幹事業(高質空間形成施設) 南郷公園及び公園遊歩道修景整備	事業費	3.4百万円	事業期間	令和3年度
--	-----	--------	------	-------

整備前の状況



亀岡市役所

修景整備のイメージ



■基幹事業(高質空間形成施設)
〔南郷公園及び公園遊歩道修景整備〕
A=6,950㎡
C=3,400(千円)

JR亀岡駅

亀山城址

現状のブロック舗装から芝生化することで、「座る」「寝そべる」「たたずむ」等、さまざまな使い方を誘発し、自然と立ち寄りたくなる場所づくりを目指し、地区住民及び来訪者の快適性、満足度を高める修景整備を行う。
また、南郷公園から遊歩道及び南郷池への視認性を高め、一体感のある修景整備を行う。









都市再構築支援事業事前評価シート

計画の名称： 亀岡駅南周辺地区 事業主体名： 亀岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○